

## 鉄道事業の旅客運賃上限変更認可申請について

北陸鉄道㈱は1月31日(火)、国土交通省北陸信越運輸局に鉄道事業の旅客運賃上限変更認可申請を提出しました。

## 記

## 1 申請理由

当社鉄道事業は、令和元年の上限運賃値上げ実施以降、新型コロナウイルス感染症拡大による利用者の激減と生活様式の変化に対応するため、デジタル乗車券の導入や鉄道イベント等を開催するなど、利便性向上策や利用促進策を実施してきたほか、人件費抑制などによる経費節減に努めてきました。

しかしながら、鉄道事業収支は毎年度1億円を超える損失を計上する状態が継続しており、安全に係る施設等の老朽化対策には、国、県、沿線市町のご支援をいただいているものの、今後も沿線人口の減少や高齢化による利用者の減少、車両や施設の老朽化対策に伴う費用および電力費高騰による経費増加が見込まれることから、大変厳しい経営環境が続くものと想定されます。

こうしたなか、安全・安心のサービスを持続的に提供し、地域の皆様の移動手段としての役割を今後も果たしていくため、このほど鉄道事業の旅客運賃上限変更認可申請をすることといたしました。

## 2 申請概要

## (1) 申請日

令和5年1月31日(火)

## (2) 改定実施日

調整中

## (3) 平均改定率

普通旅客運賃(大人) 11.3%、定期旅客運賃通勤・通学 11.0%

## (4) 現行・申請上限運賃比較表

## ア 普通旅客運賃(大人)

小学生半額、10円未満切り上げ

対キロ区間	現行上限運賃(円)	申請上限運賃(円)	運賃差(円)
2.0kmまで	160	200	40
2.0kmを超え～4.0kmまで	250	290	40
4.0kmを超え～6.0kmまで	330	370	40
6.0kmを超え～8.0kmまで	400	440	40
8.0kmを超え～10.0kmまで	450	490	40
10.0kmを超え～12.0kmまで	500	540	40
12.0kmを超え～14.0kmまで	550	590	40

## イ 定期旅客運賃(通勤1カ月)

対キロ区間	現行上限運賃(円)	申請上限運賃(円)	運賃差(円)
2.0kmまで	6,720	8,400	1,680
2.0kmを超え～4.0kmまで	10,500	12,180	1,680
4.0kmを超え～6.0kmまで	13,860	15,540	1,680
6.0kmを超え～8.0kmまで	16,800	18,480	1,680
8.0kmを超え～10.0kmまで	18,900	20,580	1,680
10.0kmを超え～12.0kmまで	21,000	22,680	1,680
12.0kmを超え～14.0kmまで	23,100	24,780	1,680

ウ 定期旅客運賃(通学1カ月)

対キロ区間	現行上限運賃(円)	申請上限運賃(円)	運賃差(円)
2.0kmまで	5,470	6,840	1,370
2.0kmを超え～4.0kmまで	8,550	9,920	1,370
4.0kmを超え～6.0kmまで	11,290	12,650	1,360
6.0kmを超え～8.0kmまで	13,680	15,050	1,370
8.0kmを超え～10.0kmまで	15,390	16,760	1,370
10.0kmを超え～12.0kmまで	17,100	18,470	1,370
12.0kmを超え～14.0kmまで	18,810	20,180	1,370

3 実施運賃

実施運賃(お客様から実際に収受する運賃)は、現行の普通旅客運賃に一律40円加算する予定です。  
 なお、実施運賃については、申請上限運賃の認可後に届出を行います。

(参考)

区間	大人普通旅客運賃(円)		1カ月通勤定期(円)		1カ月通学定期(円)	
	現行運賃	実施運賃(予定)	現行運賃	実施運賃(予定)	現行運賃	実施運賃(予定)
北鉄金沢～内灘	360	400	15,120	16,800	12,310	13,680
野町～鶴来	500	540	21,000	22,680	17,100	18,470

4 収支の実績および推定

単位：千円

項目	令和3年度(実績)	令和5～7年度(3年間合計)	
		現行	改定
営業収入	454,539	1,359,213	1,503,371
営業支出	697,082	2,126,978	2,126,978
差引	▲242,543	▲767,765	▲623,607
営業収支率	65.2%	63.9%	70.7%

5 運賃収入内訳

単位：千円

項目	令和3年度(実績)	令和5～7年度(3年間合計)	
		現行	改定
定期外	228,797	717,181	798,024
定期	204,460	578,186	641,501
合計	433,257	1,295,367	1,439,525

6 需要見通し(輸送人員)

単位：千人

項目		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(推定)	令和5年度(推定)	令和6年度(推定)	令和7年度(推定)
定期外		931	967	1,125	1,063	1,037	1,018
定期	通勤	508	516	547	578	591	604
	通学	678	781	829	840	827	814
	計	1,186	1,297	1,376	1,418	1,418	1,418
合計		2,117	2,264	2,501	2,481	2,455	2,436
対前年比		70.5%	106.9%	110.5%	99.2%	99.0%	99.2%

7 設備投資の実績・計画

(1) 設備投資実績と計画

単位：千円

項目	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(推定)	令和5年度(推定)	令和6年度(推定)	令和7年度(推定)
安全運行	330,522	643,603	431,700	431,700	119,000	701,000
サービス向上	3,355	7,896	5,342	7,119	6,371	5,342
合計	333,877	651,499	437,042	438,819	125,371	706,342

(2) 主要プロジェクトの内容(令和5年～令和7年度)

- ・ レールの重軌条化事業  
走行の安定性や快適性を高めるため、石川線四十万駅～小柳駅間の 37・40 kg レールを 50 kg レールへ更新します。
- ・ 信号保安、電路設備等事業  
無警報による重大事故を防ぐため、石川線上野々市踏切と野々市踏切を保安度の高い回路に更新します。
- ・ 車両更新  
安全性や快適性の向上を図るとともに修繕費を抑制すべく、老朽化した車両の置き換えを令和2年より順次進めております。

8 これまでの経営合理化の状況および今後の取り組み

これまで鉄道事業では、列車のワンマン運転化や有人駅の無人化などによる人件費削減や一部区間の廃止などで経費削減に努めてきたほか、国・県・市町のご支援をいただきながら安全施設の更新を実施してきましたが収支均衡には至らず、内部補助により事業を継続してきました。

今後は、キャッシュレス化の推進など更なる利用促進策に取り組むとともに、コロナ禍により内部補助が見込めなくなったことから、持続的運行に向け新たな運営スキームの構築に取り組んでいきます。

9 運賃・料金の多様化の内容(既存の企画乗車券等)

- ・ 鉄道線全線(石川線・浅野川線)1日フリー乗車券
- ・ 土日祝限定1日フリーエコきっぷ
- ・ 通学4カ月・12カ月定期券
- ・ シルバー定期券
- ・ 平日限定シルバー1日フリーエコきっぷ
- ・ 「恋のしらやまさん」きっぷ
- ・ 鶴来まちあるきクーポン
- ・ 内灘まちあるきクーポン

10 サービス向上に向けた今後の新たな取り組み

- (1) 乗車券類のデジタル化およびキャッシュレスの推進
- (2) 金沢市内1日フリー乗車券の利用範囲に鉄道線の一部区間を追加
- (3) 鉄道車両内に無料Wi-Fi導入の検討

11 本件に関するお客様からのお問い合わせ先

北陸鉄道鉄道部 TEL076-272-2221

以上